

路面電車パネル展におけるアンケート集計結果

札幌市では「札幌市路面電車活用方針」の内容を説明し、市民意向を把握することを目的として平成22年6月から9月にかけて各区民センター（手稲区は手稲区役所ロビー）及び札幌駅地下街で路面電車パネル展を開催した。パネル展で行った来場者アンケートの結果は、以下のとおり。

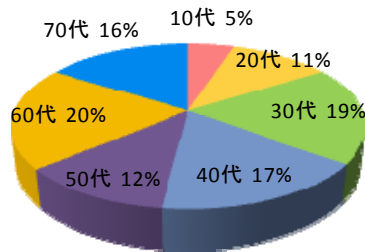
10区パネル展及び都心パネル展の合計結果

アンケート回答数 2,014人

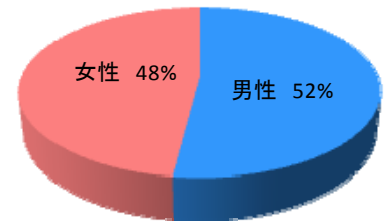
区	男性	女性	合計
中央	125	103	228
北	107	102	209
東	118	96	214
白石	90	88	178
厚別	84	82	166
豊平	78	103	181
清田	54	56	110
南	82	85	167
西	99	91	190
手稲	86	57	143
不明、その他	120	108	228
合計	1,043	971	2,014

(単位:人)

各区アンケート回答者数

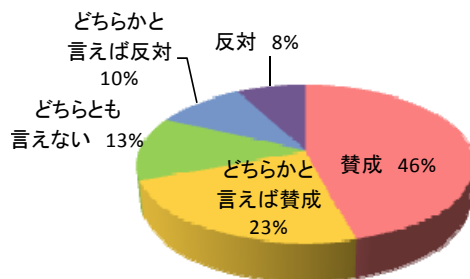


アンケート回答者年代構成率



アンケート回答者性別構成率

設問:路線の延伸など、路面電車を活用したまちづくりについてどのようにお考えですか。



全回答者の回答構成率

- ・賛成、どちらかと言えば賛成・・・69%
- ・反対、どちらかと言えば反対・・・18%
- ・どちらとも言えない・・・13%

自由記載より(抜粋)

- ・延伸によって、周辺のデパートなどがにぎわうようになれば良い。
- ・路面電車に乗って街並みを見るのが楽しい。
- ・自分の車ばかりでなく、もっと公共交通機関を利用したいと思っていたので、この機会に考えてみたい。
- ・延伸によってまちが活性化するのかがわからない。
- ・都心部にはすでに地下鉄などの交通の便はあるのに、これ以上増やす理由があるのか疑問。
- ・延伸すると、黒字が見込めず市の負担が増大し、道路の混雑も予想される。

10区パネル展のアンケート結果

期間 平成22年6月10日～7月28日(各区5日間ずつ開催)
 場所 各区民センター(手稲区は手稲区役所ロビー)
 概要
 ・パネル展示(10枚)
 ・パンフレット配布
 ・来場者へのアンケート調査

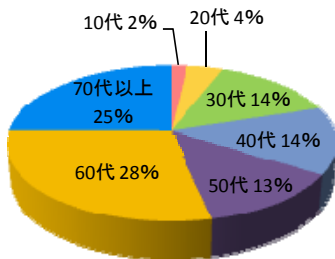
来場者数 2,144人
 アンケート回答数 1,167人



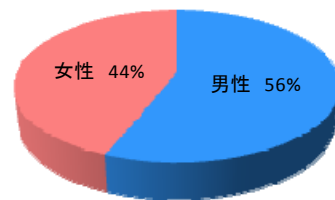
区	男性	女性	合計
中央	84	40	124
北	47	45	92
東	89	65	154
白石	72	56	128
厚別	60	58	118
豊平	53	59	112
清田	42	43	85
南	67	54	121
西	68	48	116
手稲	75	42	117
合計	657	510	1167

(単位:人)

各区アンケート回答者数



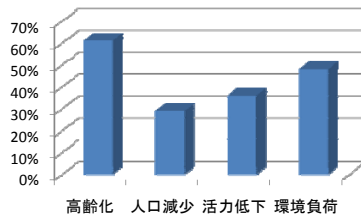
アンケート回答者年代構成率



アンケート回答者性別構成率

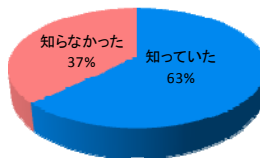
設問1: パネルで今後の札幌に訪れる社会状況の変化を4つあげていますが、あなたが特に関心のあるものすべてをお選びください。(複数回答可)

- ・超高齢社会が目前 ……61%
- ・人口減少社会の到来 ……29%
- ・観光振興をはじめとする都市全体の活力低下 ……36%
- ・懸念される環境負荷の増大 ……48%



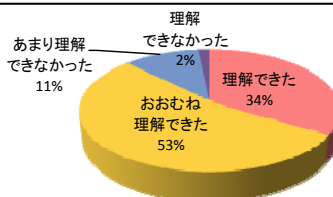
設問2: 他都市では、低床車両や新しいデザインの車両が運行されていることを知っていましたか。

- ・知っていた ……63%
- ・知らなかった ……37%



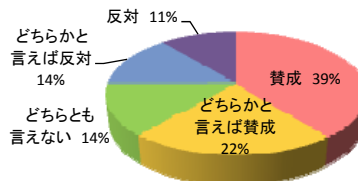
設問3: パネルをご覧になって、路面電車の持つ特性を理解することができましたか。

- ・理解できた、おおむね理解できた ……87%
- ・理解できなかった、あまり理解できなかった ……13%



設問4: 路線の延伸など、路面電車を活用したまちづくりについてどのようにお考えですか。

- ・賛成、どちらかと言えば賛成 ……61%
- ・反対、どちらかと言えば反対 ……25%
- ・どちらとも言えない ……14%



都心パネル展のアンケート結果

期間 平成22年9月2日(木)～9月5日(日)
 場所 札幌駅地下街アピア「太陽の広場」
 概要 ・パネル展示(10枚)
 ・DVD「富山市の電車環状線化事業概要」の放映
 ・パンフレット配布
 ・来場者へのアンケート調査

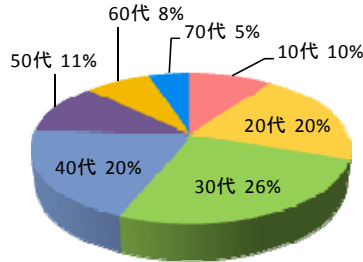
アンケート回答数 847人



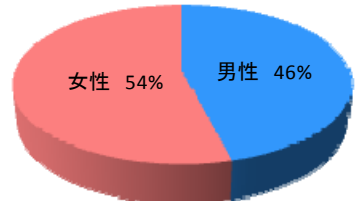
区	男性	女性	合計
中央	41	63	104
北	60	57	117
東	29	31	60
白石	18	32	50
厚別	24	24	48
豊平	25	44	69
清田	12	13	25
南	15	31	46
西	31	43	74
手稲	11	15	26
不明、その他	120	108	228
合計	386	461	847

(単位:人)

各区アンケート回答者数



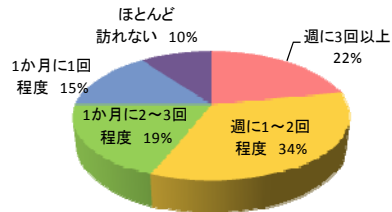
アンケート回答者年代構成率



アンケート回答者性別構成率

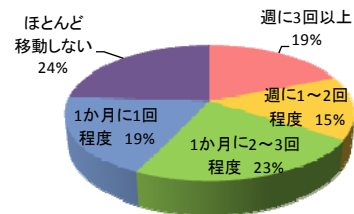
設問1: 現在、どのくらい都心(札幌駅周辺、大通、すすきの地区)に訪れますか。

- ・週に3回以上 ...22%
- ・週に1～2回程度 ...34%
- ・1か月に2～3回程度 ...19%
- ・1か月に1回程度 ...15%
- ・ほとんど訪れない ...10%



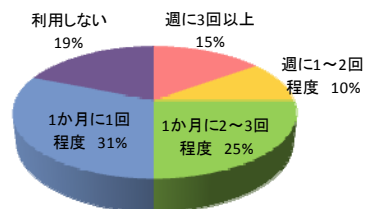
設問2: 都心を訪れた際、都心内で札幌駅周辺以外の地域に移動することがどれくらいありますか。

- ・週に3回以上 ...19%
- ・週に1～2回程度 ...15%
- ・1か月に2～3回程度 ...23%
- ・1か月に1回程度 ...19%
- ・ほとんど移動しない ...24%



設問3: 仮に路面電車が札幌駅方面まで延伸されると、来年開通予定の駅前通地下歩行空間とあわせ、札幌駅周辺から大通、すすきの地区までの移動がさらに便利になることが予想されます。その場合、あなたは路面電車を利用して都心内を移動することがどれくらいあると思いますか。

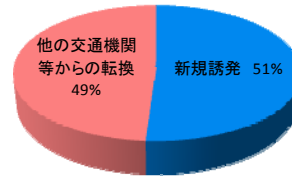
- ・週に3回以上 ...15%
- ・週に1～2回程度 ...10%
- ・1か月に2～3回程度 ...25%
- ・1か月に1回程度 ...31%
- ・利用しない ...19%



設問4: 前問で「利用しない」以外を選択された方にお聞きします。

路面電車を利用する理由として当てはまるものをお選びください。

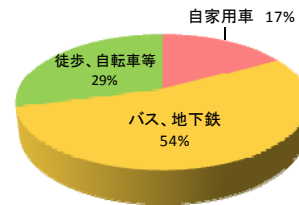
- ・便利になることなどにより、
都心内を移動する機会が増えると思うため ……51%
- ・他の交通機関の利用から、
路面電車へ変更するため ……49%



設問4-2: 前問で「他の交通機関の利用から、路面電車へと変更するため」を選択された方にお聞きします。

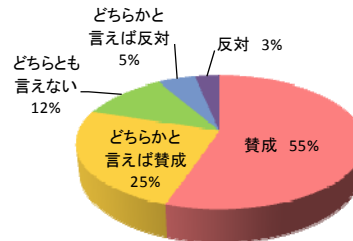
「他の交通機関」について、当てはまるものをお選びください。

- ・自家用車 ……17%
- ・バス、地下鉄 ……54%
- ・徒歩、自転車等 ……29%



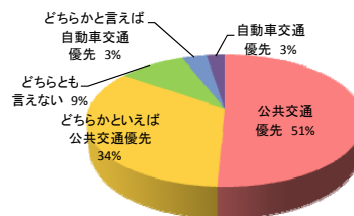
設問5: 路線の延伸など、路面電車を活用したまちづくりについてどのようにお考えですか。

- ・賛成、どちらかと言えば賛成 ……80%
- ・反対、どちらかと言えば反対 ……8%
- ・どちらとも言えない ……12%



設問6: 路面電車の延伸等により、歩行者や来街者は都心内を移動しやすくなりますが、一方で道路の混雑も予想されます。都心内における交通のあり方(公共交通機関と自動車)について、今後どのような考え方で整備を進めるべきだとお考えですか。

- ・公共交通機関の利便性を優先すべき、
どちらかと言えば公共交通機関を優先すべき ……85%
- ・自動車交通を優先すべき、
どちらかと言えば自動車交通を優先すべき ……6%
- ・どちらとも言えない ……9%



「路面電車の活用を考える市民会議」(30人規模)について

10月16日(土)、17日(日)に行われた市民会議では、無作為抽出した市民2,000人から参加者を募集し、その中から居住区・世代等を考慮して決定した26人の市民が、実際に路面電車に乗って感じたことも踏まえ、「路面電車の課題と可能性について」市民の目線や利用者の視点で議論を行いました。

1 日時

- 1日目 平成22年(2010年)10月16日(土) 10:00~16:00
(路面電車への乗車体験 15:00~16:00)
- 2日目 平成22年(2010年)10月17日(日) 10:00~16:00

2 会場 すみれホテル 3階「ヴィオレ」(札幌市中央区北1条西2丁目)

3 議論における意見概要

テーマ1「私と路面電車」

【路面電車の思い出】

- ・昔は路線数も多く、小さい頃や若い頃に利用していた
- ・昔は市民の足だった(通勤、通学、通院、買い物、公園利用等々)

【普段の利用】

- ・普段はあまり(まったく)利用しない(自動車での移動が主)
- ・子どもにせがまれて乗った。家族との記念に乗った
- ・買い物や通院、図書館利用などで利用している
- ・高齢者の足としては、上下の移動も無く便利(バリアフリーではないが)
- ・運行時間は比較的正確
- ・金額が一律で、他の交通手段に比べ安い

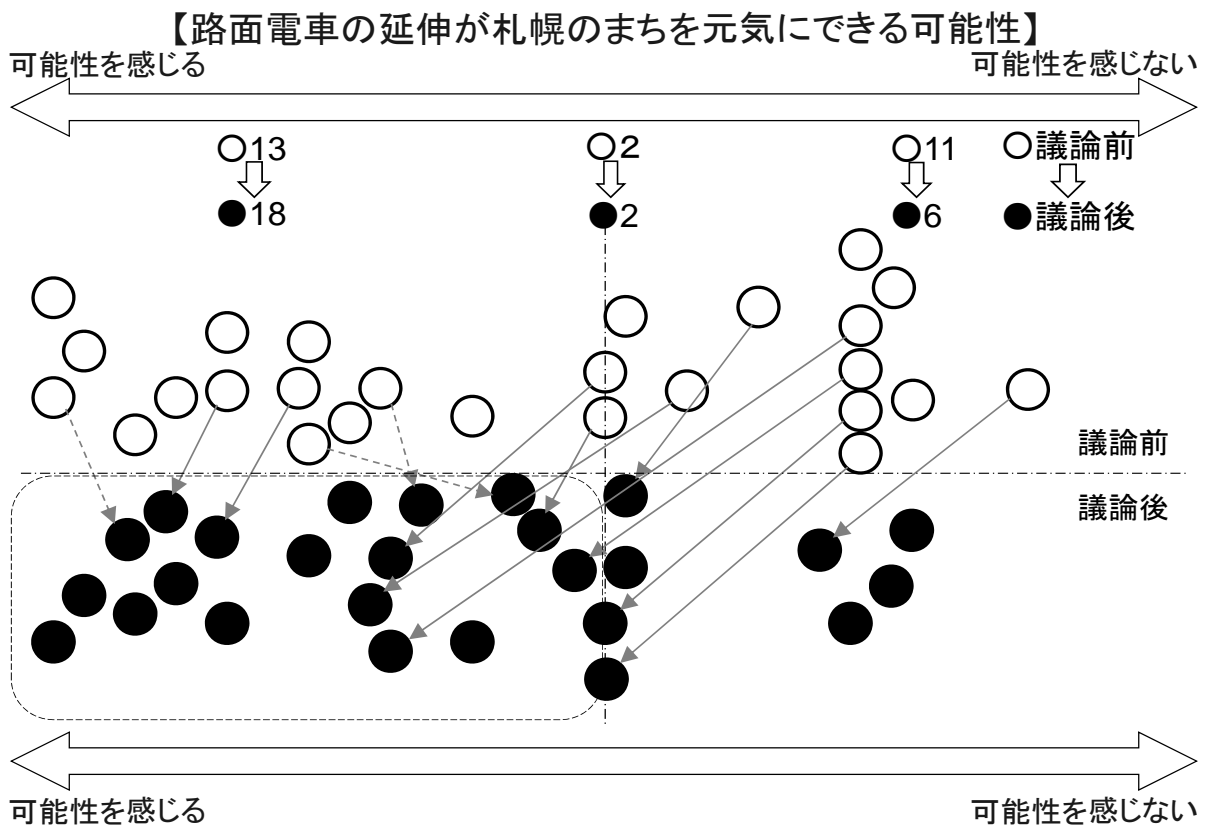
【路面電車のイメージ】

- ・札幌のシンボル(ささら電車は札幌の風物詩)
- ・のんびりしたイメージ(外の風景が見える)
- ・環境にやさしいイメージ
- ・観光資源になっているまちもある(函館など)
- ・海外の電車はデザインがかっこいい(札幌は古くさいイメージ)
- ・企業広告は評価が分かれる
- ・「色」は大切(海外の電車は目立つ)
- ・自動車利用には邪魔

テーマ2「路面電車は札幌のまちを元気にするのか」

【路面電車活用の課題～ただ延ばすだけじゃダメ！～】

- 課題1：採算性の向上へ向けた努力が必要
 - 運営経費の削減
 - 沿線の住民だけでなく他の市民も利用できるようにすべき
 - 都心では、若い人は利用しない
- 課題2：自動車から人を中心としたまちへの転換が必要
 - 路面電車を中心としたまちづくり
- 課題3：まちづくりと一体となった効果的な路線選定が必要
 - 延伸地区の順位を検討すべきである
- 課題4：回遊性の向上に向けた工夫が必要
 - 他の公共交通機関との接続
- 課題5：より使いたくなるような車両の工夫が必要
 - バリアフリーと車両デザイン



テーマ3「もっと路面電車に乗ってもらうためには？」

【全般】

- ・他の公共交通や、自動車・自転車との乗り継ぎをよくする
- ・イメージアップ戦略を持ってPRする（周辺案内、サービス情報）
- ・若者向けに攻めの対応（子育て世代も乗りやすく）と高齢者向けに守りの対応を
- ・沿道と一体に乗りやすい環境をつくる（電停は歩道側に屋根付きで）
- ・乗りたくなる、乗りやすいデザインの電車に（バリアフリー、外だけでなく内も）
- ・各種サービス料金の設定を（ワンコイン利用、エコ切符で買い物割引）
- ・コンパクトシティ化に向けて都心居住を優遇する
- ・最低限赤字にならない運営で、雇用や経済の活性化への貢献を重視する
- ・回遊性を高めるために循環できるルート設定を

【地域の住民にとって】

- ・病院など多くの人を利用する施設をつなぐ
- ・高齢者が利用しやすい（車椅子利用も可能な二両編成に）

【都心に通勤、通学する人にとって】

- ・通勤快速の運行、運行間隔を短く定時制の確保を

【都心に買い物などで訪れる人にとって】

- ・大規模な商業施設をつなぐ

【観光客にとって】

- ・モデルコースを設定する（道庁⇒札幌ファクトリー⇒サッポロビール園）
- ・まちの風景を楽しめる大きな窓や座席の工夫を

テーマ4「札幌市の提案する延伸検討3地区を市民目線で考える」

【都心地域】5グループ中3グループが優先順位1位（うち1グループは「都心地域+創成川以東地域」）

- ・都心は歩いて回遊するのが基本
- ・都心は最後（交通手段は充実している）
- ・歩行者優先のシンボル空間（景観）づくりを。電停周辺の活性化が期待できる
- ・自家用車の乗り入れ禁止、ループ化原則（複線）、時計台通り線で効果
- ・地上（路面電車）と地下（歩行空間）で商圈の一体化
- ・既存路線をつなぎ、苗穂につなぐのが最も効果的

【桑園地域】5グループ中1グループが優先順位2位

- ・15丁目から、美術館、大型商業施設（市民の多様な利用）
- ・病院施設など市民の利用する施設の利便性が向上する
- ・桑園地区の住民が利用するか調査をして考えるべき
- ・沿線住民の利用が主になってしまう可能性もある

【創成川以東地域】5グループ中1グループが優先順位1位、1グループが優先順位2位

- ・道庁（都心商業）⇒札幌ファクトリー⇒アリオは重要（買い物、観光+モール化）
- ・現在、アクセスしづらい施設利用の向上が期待できる
- ・文化施設の新設もあり観光的にも期待できる
- ・再開発の計画もあるということが期待できる

【その他】

- ・地下鉄と競合しない路線で回遊性（外周）を
- ・人が中心のまち、回遊性のあるまち、雇用経済の活性化につながる視点で検討を
- ・路線検討では都心部への通勤、通学の選択肢を増やすという視点が重要
- ・延伸は利用増が前提
- ・利用しやすい料金（ワンコイン）の検討も
- ・既存路線の課題解決しない段階で、延伸議論は拙速（まずループ化社会実験を）
- ・市の実現に向けた情熱に期待する

「路面電車の活用を考える市民会議」（100人規模）の開催について

今回開催する市民会議は、10月16日、17日に開催した市民会議の意見を踏まえながら、市民や観光客、商業者など様々な視点や、利害関係者等の意見も考慮し「路面電車の課題と可能性」「延伸路線を考える上での視点・指標」等について議論していただき、幅広い意見を頂きたいと考えています。

また、会議の1日目には、公募の市民や団体の意見発表を聞く「オープンヒアリング」を実施する予定です。

1 日 時

1 日目	平成 22 年（2010 年）11 月 28 日（日）	10：00～16：00
	（オープンヒアリング	14：30～16：00）
2 日目	平成 22 年（2010 年）12 月 5 日（日）	10：00～16：00
3 日目	平成 22 年（2010 年）12 月 19 日（日）	13：00～16：00

（※時間については変更になる場合があります）

2 会 場

STV 北 2 条ビル 6 階会議室（札幌市中央区北 2 条西 2 丁目）

3 市民会議の実施方法と参加者

市民会議は、10月に開催した市民会議と同様に、プランニングセル方式で行います。

今回の参加者は、無作為抽出により市民 5,000 人を抽出し、参加申し込み者の中から、年代構成、性別、居住区を考慮しながら 100 人の方に参加していただくこととしております。

当日は、路面電車に関する情報を提供し、各種テーマについて 5 人～6 人の小グループで発表などを行いながら、市民同士で議論していただくことを予定しています。

4 公募市民の意見発表の場（オープンヒアリング）

市民会議への参加者とは別に、公募市民が路面電車について意見を発表する場を、市民会議 1 日目の 14 時 30 分から予定しています。

発表を希望する市民、団体を、広報さっぽろ 11 月号で公募します。

【問い合わせ先】

市民まちづくり局 総合交通計画部

都市交通課 佐々木、菊池

TEL 211-2492